

練習課題 NO.17 設計課題「レストラン併用住宅(木造 2 階建)」

1. 設計条件

ある地方都市の住宅地に、レストラン併用住宅を計画する。

計画に当たっては、次の点に留意すること。

- ① レストラン部分と住宅部分とは、出入口を明確に分離し、屋内の1階部分の玄関で行き来できるようにする。
- ② レストランで使用するハーブ等を栽培するハーブ菜園を設け、厨房からの動線に配慮する。
- ③ レストラン内における客の動線と外部から搬出入のための動線とは、明確に分離する。
- ④ 建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 準住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の制限60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平たんで、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

- 必ず「180㎡以上、220㎡以下」とする。
- (床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、ハーブ菜園等は、床面積に算入しないものとする。)

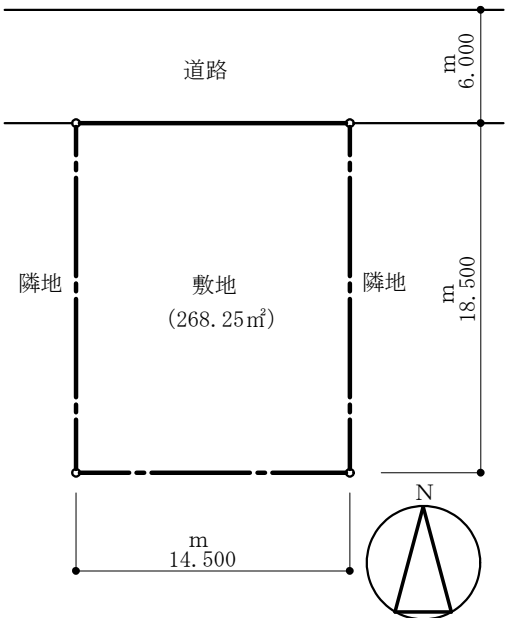
(4) 家族構成等

夫婦(夫40歳代・妻40歳代・夫婦で経営)、子供2人(男子小学生、女子中学生)

(5) 要求室

下表すべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

室 名		特 記 事 項	床面積
レストラン部分	1階	客席 スペース	適宜
		厨房	
		客用便所	
住宅部分	2階	玄関	適宜
		居間・食事室・ 台所	26㎡以上
		便所	適宜
		夫婦室	19㎡以上
		子供室(2室)	9㎡以上 (1室当たり)
		浴室	適宜
		洗面脱衣室	
		便所	
		(注1)1階の廊下の幅は、心々1,365mm以上とする。	



敷地図(縮尺:1/400)

(6) 屋外施設等

屋外に下記のを計画する。

名 称	特記事項
ハーブ菜園	レストランで使用するハーブ等を栽培し、広さは3m×3mとする。
駐車スペース	住宅用として小型乗用車1台分とする。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の 1目盛は、4.55mm(矩計図にあつては、10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

要 求 図 書 ()内は縮尺	特記事項
1階平面図 兼 配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 道路から玄関へのアプローチ、駐車スペース、ハーブ菜園、門、塀、植栽等を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 要求室には、次のものを記入する。 ・客席スペースには、テーブル、いす、レジカウンター ・客用便所には、洋式便器、手すり、手洗い器 ・厨房には、配膳カウンター、流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫、手洗い器 ・玄関には、下足入れ ・居間・食事室・台所には、テーブル、いす、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等) ・便所には、洋式便器、手洗い器 オ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう。(以下同じ) キ. 矩計図の切断位置を記入する。
2階平面図 (1/100)	ア. 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 室名を記入する。 ウ. 要求室には、次のものを記入する。 ・夫婦室には、ベッド ・子供室には、ベッド、机、いす ・浴室には、浴槽 ・洗面脱衣室には、洗面台、洗濯機 ・便所には、洋式便器、手洗い器 エ. 「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 オ. 1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 カ. 矩計図の切断位置を記入する。
2階床伏図 兼 1階小屋伏図 (1/100)	ア. 部材(通し柱、1階及び2階管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ. 建築物の主要な寸法を記入する。
立面図 (1/100)	・ 北側立面図とする。
矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、1階・2階の外壁の開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってもよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、大引、1階根太、胴差、2階床梁、2階根太、桁、小屋梁、母屋、垂木)の名称・断面寸法を記入する。ただし、1階床を土間コンクリートとする場合は、コンクリートの厚さ等を記入する。 カ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 次の部分の断熱・防湿措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の主要な部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
計画の要点等	・ レストランの計画に関する次の①～③について、それぞれ箇条書きで具体的に記述する。 ①レストランの客席スペースについて工夫したこと ②厨房の配置について工夫したこと ③住宅からの屋内の動線計画において工夫したこと